

# 園児の絵 工事現場に癒やし

## 由布市の大分大挾間キャンパス



㊤ギャラリーの設置式に参加した園児ら㊦工事現場の仮囲いに設置された園児たちの絵＝24日午後、由布市の大分大挾間キャンパス、撮影・首藤洋平

【由布】由布市挾間町の大分大挾間キャンパスで24日、工事現場の仮囲いを活用した絵画ギャラリーの設置式があった。大分市王子

新町の同大付属幼稚園の作品が無機質な壁を明るく彩っている。同キャンパスは医学部や付属病院への進入路を4車



線に変更し、駐車場を拡張する工事を今月から実施している。来院者の心が少しでも癒やされるように、とギャラリーを設けた。

仮囲いは高さ約2.5、幅約70センチ。年長児54人がそれぞれの「大切な人」を画用紙に水彩やクレヨンで描き、マグネットシートに印刷して張った。

設置式には代表園児6人が出席。原画を受け取った北野正剛学長は「心が温かくなる素晴らしい絵をありがとう」と話し、自由帳とクレヨンのセットを贈った。

小河千蘭ちゃん(6)は「ここに笑顔のママを描きました。見た人が楽しい気持ちになったらうれしいです」。仮囲いを外す12月末まで展示する。

(藤沢香)